

News Letter



<http://bdp.org.bd>

December, 2024

Since-1999

ミーナ友の会会長・石川勇様からのメッセージ



日本から、皆様にご挨拶申し上げます。ミーナ友の会会長の石川勇です。私はバングラデシュとの関わりを持ち始め、四半世紀が経ちました。これまで三回バングラデシュを訪れ、BDPの運営する小学校、職業訓練校を訪問してきました。どの施設でも子どもたちや若者たちが一生懸命勉強している姿に、いつも励まされています。夢に向かって努力することは希望を持つこ

とであり、その希望は生きる力です。

ミーナ友の会は、BDPとともに歩んで30年を迎え、これまでの支援者は200人を超えます。現在に至るまで、職業訓練校とヒアプロジェクトへの資金援助を通して、子どもたちや若者の学習を支援しています。

BDPは、貧困や障がいによって絶望の淵に立たされている人々に教育の機会を提供し、彼ら/彼女らが希望を持って生きていけるようにすることで、バングラデシュ社会に貢献しています。ミーナ友の会は、BDPの使命に共感し、今後も支援を続けていきたいと考えています。皆様に神の祝福がありますように。素敵なクリスマス、そして良いお年をお迎えください。



(写真)昭島幼稚園の理事長と園長、および教職員。

バングラデシュのハンドクラフト～ぜひ手にとって、繊細で手の込んだデザインを感じてください～



詳しい情報はBDP Vocational School Visit (BDPの職業訓練校)のHPをご覧ください
http://bdp.org.bd/program_vocationaleducationprogram.html

BDPの教育プログラム

私たちの主な目標は、経済的な理由で学校に通うことのできない人々や、学校から遠く離れた場所に住む人々に教育を提供することです。BDPは、行政機関や学校がない地方の孤立した場所に学校を設立しています。また、BDPは多くの生徒とその家族がスラム地域で暮らしている都市部でも、いくつかの学校を運営しています。彼/彼女らは、親が非正規雇用で働いており、とても貧しい状況に置かれています。学校では、課外活動を通して生徒の健康への意識を高めたり、スポーツを行ったり、国の記念日の意義について話し合うといったことも行っています。さらに、BDPでは「アイキャンプ」活動を行い、生徒の目を検査して必要であれば眼鏡や薬などの適切な治療を提供しています。しかし、私たちの資源には限りがあり、BDPの小学校を卒業したすべての子どもたちの



その後の進学を支援することはできません。そのため、私たちは、優秀であるものの低所得の家庭出身の生徒に対して、勉強を続けるための経済的な支援を行っています。私たちの生徒は低所得家庭の出身で、小学校を卒業すると、働いてお金を稼ぐために退学する子どもたちも少なくありません。そこでBDPは、彼/彼女らがスキルを持った労働者として雇用市場に参入し、経済的な利益を得ることができるように、職業教育を始めました。

• アロモニ・ベパリさん



アロモニさんとお母さんは、5年前に父親が彼女らの元を去って結婚をし、また頼れる親戚や友人もいないため、二人で暮らしていました。アロモニさんのお母さんは、夜明けから夕暮れまで、7軒の家で家政婦として働いていました。アロモニさんは、BDPのCity Colony primary schoolで2008年から2013年まで学びました(小学1年生から5年生まで)。彼女が4年生、13歳の頃、お母さんの元に、アロモニさんとの結婚の申し込みが届きました(発展途上のイスラム教国では、女性が若い年齢で結婚をすることが多く見られます)。そこでお母さんは、アロモニさんの通うBDP小学校の校長の元へ行き、これからどうしたら良いのかを相談しに行きました。(4ページ2つめのコラムに続く)

News Letter



<http://bdp.org.bd>

December, 2024

Since-1999

活動報告(2024年7月から12月)

7月17日: BDP本部にて、あらっぷの会の荒井真理氏と高橋みちる氏との会合が行われました。会合には、BDPの理事長と副理事長、会計役も参加し、BDPの聴覚障がい児のための特別支援学校の円滑な運営のための今後の戦略、立案について話し合いました。

9月4日: ワールドコンサーン本部のオペレーションシニア・ディレクターであるピーター・マチャリア氏と、WCBのカントリー・マネージャーであるグロリアス・ダス氏との会合が、ミルプールにあるBDP本部で行われました。今後、二つの組織と共同パートナーとして活動を行っていくことが期待できる実り多い会合となりました。

9月18日~21日: プーバイル地区にあるBDPトレーニングセンターにて、プーバイル地区の小学校とミルプール地区の小学校の教員を対象に、4日間の研修が行われました。研修はACEFとBDPが共催し、日本のFiLCからは久保田賢一先生、西尾三津子先生、大福聡平先生、そしてダッカ大学のアラム先生をトレーナーとして迎えて、研修を行いました。

9月16日~21日: プーバイル地区トレーニングセンターにおいてFiLCの教員研修を実施後、ACEFの柳原さつき事務局長とそのバングラデシュ人の友人が、農業の専門家と共にネトロコナの学校教員を対象にして、学校菜園(さつまいも)に関する研修を実施しました。これは、栄養失調に苦しむ低所得家庭の子どもたちの健康改善に焦点を当てたものであり、プロジェクトを通して地域の子どもの健康を改善することを目的としています。

11月10日~13日: BDPはカグラチャリの4つの地区で、4000世帯に救援物資を配布しました(11月10日にサジェク、11日にディジナラ、12日にモハルチョリ、13日にマティランガ)。

11月15日~18日: BDPはノアカリの4つの地区で、4000世帯に救援食糧を配布しました(11月15日にアワディワ、16日にビノプール、17日にチャー・モトゥヤ、18日にカラドラブ)。

11月21日: JAFSの代表理事であるNoriko Atuata Mallah氏、同じくJAFSの理事である渡辺治彦氏、Yuko Kawamoto氏がBDPのラルクティール小学校(スラムにある小学校)を訪問しました。

30の小学校と、2つの職業訓練校と、3つの特別支援学校(自閉症、聴覚障がい、ダウン症の児童が対象)。6つの地区に9つの活動地域を持ち、30年間活動をしています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



BDPの復興支援活動(カグラチャリ、ノアカリ)

2024年8月、豪雨がバングラデシュのコミラ、フェニ、ノアカリに深刻な影響を与えました。連続的な豪雨が引き金となって、隣国インドのダムからの放水により悪化した洪水は、広大な地域を水没させ、150万人以上の人が避難しました。コミラだけでも3日間で6人の死者が出ており、危機の深刻さが浮き彫りになっています。また、グムティ川やムフリ川などの河川の氾濫で、何千もの家族が家と生計を失いました。現地のインフラや市場が破壊されたために、被災した多くの家族が十分な食糧を手に入れることができず、早急な食糧支援を必要としています。バングラデシュでは合計11の地区(フェニ、クミラ、チャッタグラム、カグラチョリ、ノアカリ、モウロビバザール、ホビガンジ、ブラモン・バリア、シルヘット、ルクスミプール、コックス・バザール)が最近の洪水で浸水しており、死傷者総数は18人、被災者総数は4,938,169人にのぼります。



BDPは、飢餓と栄養失調を防ぐため、フェニ(ノアカリ)とカグラチャリの洪水被災者8,000世帯を対象に、緊急食糧支援物資の緊急支援を行いました。これにより、子ども、妊婦、高齢者、障がい者などの社会的弱者が、BDPの食糧支援を優先的に受けられるようになりました。BDPは、地元当局(メンバー/議長/TNO/UNO)や組織(教会/学校)と協力し、配布ルートを検討し、洪水の最も影響を受けた地域に支援が迅速に届くようにしました。BDPは、カグラチャリの4つの地域(マティランガ、サジェク、モハルチョリ、ディジナラ)で4,000世帯、ノアカリでも4,000世帯を対象に救援活動を行いました。BDPの救援・緊急活動は、地元の新聞やテレビなどのメディアでも取り上げられました。



参考:

<https://parbattakantho.com/archives>

<https://www.amadershomoy.com/country/article/128821>

News Letter

Basic Development Partners

<http://bdp.org.bd>

December, 2024

Since-1999

写真ギャラリー

写真ギャラリー



あらっぶの会とBDP理事会メンバーの会合



ネトロコナで行われた学校菜園の研修



ワールドコンサーン理事と、BDP本部の理事長、理事メンバーとの会合



ACEF事務局長の柳原さつき氏と、BDP本部スタッフ



ディジナラ (上) とマティランガ (下) での救援物資の配布



サジェク (上) とモハルチョリ (下) での救援物資の配布



アワディワ (上) とピノプール (下) での救援物資の配布



モトゥヤと (上) とカラドラブ (下) での救援物資の配布



News Letter



<http://bdp.org.bd>

December, 2024

Since-1999

柳原さつきACEF事務局長からのメッセージ



BDPの皆様は年末のご挨拶を申し上げます。今年最大のニュースは、 Bangladesh の突然の政変と、それに伴う8月のスタディーツアーの中止でした。10名のメンバーで楽しみにしていただけに非常に残念でしたが、それ以上に、 Bangladesh とのインターネット接続が完全に遮断されたことで、ACEFの全員が非常に心配していました。首相が出国するという大変な事件

でしたが、幸いにも私たちの大切な友人、BDPのスタッフ、BDPの学校の先生や子どもたちは全員無事で、ほっと胸をなでおろしました。そして、 Bangladesh の情勢が落ち着いた9月中旬、愛敬福祉支援財団の支援とFiLCの協力のもと、今年はプーバイル地区でBDPスクールの教師を対象としたキャパシティビルディング研修を実施しました。BDPスクールの質が向上し、子どもたちがよりよく学べるよう、今後もトレーニング支援を続けていきたいと考えています。ACEFは、引き続き財政難に直面しています。正直、気が滅入ってしまうこともあります。すべての子どもたちに初等教育を提供し、若者を育てるという私たちの目標を達成する方法はたくさんあり、BDPもACEFも、そのための方法を見つけることができると信じています。BDPとACEFの英知を結集して、来年も引き続き協力していきたいと思えます。素敵なクリスマスと、そして良いお年をお迎えください！ありがとうございました！

30の小学校と、2つの職業訓練校と、3つの特別支援学校（自閉症、聴覚障がい、ダウン症の児童が対象）。6つの地区に9つの活動地域を持ち、30年の間活動をしています。



アロモニ・ベパリさん (1ページ目のコラム2の続き)

BDPの校長はアロモニさんのお母さんに、「アロモニは勉強がうまくいっているのだからあきらめないで、学校の勉強を終わらせなさい。もう少し頑張って、高校や高等学校の勉強を続けるのであれば、BDPが援助します」とアドバイスをしました。そして、その後、職業訓練を修了した後就職を選んだり、あるいは人生のパートナーと結婚すると決めたりした場合、彼女に決めさせようと提案しました。お母さんは校長からの提案に耳を傾けた後、自分と娘の人生で二度と同じ過ちを繰り返さないようにしようと決心しました。お母さんは、BDPの初等教育が無料であったため、娘を卒業させることにしました。アロモニさんは現在、看護学校の2年生で、インターンとして病院でアルバイトもしています。BDPは、貧困と早婚の悪循環から、そして社会的差別からまた一人が救われたことを喜び、彼女のこれからの人生における努力が報われることを祈っています。BDPは、彼女がサポートを必要としている限り、彼女のそばにいます。



ソンチョイ・D・ロザリオ父であり、友人であり、同僚でした。ソンチョイ・D・ロザリオ氏は、BDPの中でもとても有名で、皆の信頼の象徴でした。控えめな性格で知られていましたが、2024年に、病院からの帰宅途中に眠るように息を引き取りました。彼は1969年1月27日、マトバリ・ミッションのバサニアで生まれました。5人兄弟の末っ子で、自分よりも他人を優先して他人を助ける、最愛の息子であり、兄弟でした。また学業に優れ、飛び級をして、セント・ニコラス高校を卒業し、ノートルダム大学で、続けてダッカ大学で学士号を取得しました。長年連れ添った恋人と結婚し、娘には最高水準の教育を受けさせました。家計を支えるために早くから働き始め、2000年にBDPに入職し、25年間を地域開発にその身を捧げましたが、2024年7月に健康上の理由で退職をしました。さらに、ダッカ・クレジットや、コロナ禍でも利益を出したマトバリ・クレジットなど、さまざまなキリスト教の組織においても奉仕しました。(出典: Labano Rozario)



子ども達の夢を叶える支援をしませんか。
Contact Address: 32/5, Senpara Parbata, Mirpur - 10, Dhaka - 1216, Bangladesh.
Email: info@bdp.org.bd Phone: + 880 2 58052026. + 880 2 58052027.
BDP ニュースレターについての詳しい情報はこちら
BDP Newsletter Team Comprises of: Hlacingmong Issac Murrui, Sylvia Chambugong, Khadija Khanam, BDP Area.
Managers & School Headmistresses: +880-2-58052026, Email: bdpnewsletter@bdp.org.bd Sunday - Thursday: 9am - 4pm.